

## 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成26年6月19日

支出負担行為担当官  
沖縄防衛局長 武田 博史

### 1 業務内容等

- (1) 業務名 北部訓練場周辺における騒音調査に係る機器の保守・点検等業務
- (2) 業務内容 仕様書のとおり
- (3) 履行期限 契約締結日から平成27年3月31日まで

### 2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成25・26・27年度防衛省所管の競争参加資格（全省庁統一資格）において、資格の種類が「役務の提供等」で、BまたはCの格付けを受け、九州・沖縄地域に競争参加資格を有する者であること。
- (3) 契約担当官等から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

### 3 入札手続等

- (1) 担当部局  
〒904-0295 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9  
沖縄防衛局総務部会計課会計係 電話 098-921-8181 (133)
- (2) 入札説明書等の交付期間等  
平成26年6月19日(木)から平成26年7月4日(金)まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までの間を除く。）、担当部局にて上記2(2)に掲げる競争参加資格の格付けを受けている者又は取得見込者に対し交付する。  
なお、交付については貸与とし、開札日から14日以内に返却するものとする（郵送等による場合は期限内必着。）。
- (3) 入札及び開札の日時等  
平成26年7月7日(月) 午前10時00分 沖縄防衛局 2階 会議室  
入札書は、持参又は電送か郵送とすること。

### 4 その他

- (1) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (2) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (3) 落札者の決定方法 予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 関連情報を入手するための照会窓口 上記3(1)に同じ。
- (6) 詳細は入札説明書による。
- (7) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者は、競争参加を認めない。

# 仕 様 書

## 1 業務の目的

本業務は、北部訓練場周辺に設置している「航空機騒音自動測定装置」について、保守点検を行い、同測定装置の継続的な性能維持及び管理を行うことを目的とする。

## 2 適用の範囲

この仕様書は、北部訓練場周辺における騒音調査に係る機器の設置調整等及び保守点検業務の契約について適用する。

## 3 用語の定義

本仕様書で使用する用語の意義は、次に定めるところによる。

- (1) 検査官 業務の完了の確認を行う者で、契約書の規定に基づき、委託者が指名する者をいう。
- (2) 監督官 業務の的確かつ円滑な処理を図り、契約の適正な履行を確保するため必要な監督を行う者で、委託者が指名する者をいう。

## 3 履行場所

- (1) 北部訓練場周辺 3 地点（詳細は別紙のとおり）
- (2) 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局 6 F（監視システム）

## 4 業務の内容

本業務において、受託者は、(1)において指定する貸与品を履行場所に設置し、(2)に従い設置調整等を行うものとする。なお、航空機騒音自動測定装置の設置調整等に先立ち監督官に図面等を提出し、確認を受けるものとする。

また、(3)に従い保守点検作業を行うものとし、運用に支障の無いよう適宜作業を行い、不測の事態（台風等）が発生した場合は直ちに確認作業を実施するものとする。

### (1) 貸与品（当局倉庫保管）

#### ①測定装置（NA-36）の構成

- ・精密騒音計：NA-82A（マイクロホン含む）
- ・航空機騒音識別装置：AN-24T（マイクロホン含む）
- ・航空機騒音処理プログラム：EF-43B

#### ②航空機騒音監視システム（PC）：AS-50

③履行場所（1）に設置するマイクロホンスタンドの据え付けに当たっては、台風等を考慮し安全対策を講ずること。

### (2) 保守点検業務

- ① 契約履行期間中、保守点検作業を（各四半期ごとを目途）実施することとし、日程は監督官と調整の上で実施する。

航空機騒音自動測定装置については、別添1「航空機騒音自動測定装置保守点検基準」に基づき点検し、監視システムについては、別添2「航空機騒音自動監視システムAS-50（オンライン用）取扱説明書」に基づき、起

動状態等の確認を行う。

併せて下記部品の交換作業を行い、必要となる部品は全て無償提供する。

- ・防風スクリーン（1台あたりマイクロホン用1個、航空機識別マイクロホン用4個）
- ・リチウム電池（1台あたり2個）
- ・停電保証用電池

② 受託者は業務毎に以下の書類を監督官に提出すること。

- ・業務実施計画書
- ・作業員名簿
- ・保守点検報告書
- ・障害対応報告書

③ 保守点検等を実施する際、測定装置に対し権利（特許権、著作権等）がある場合は、権利を有する者に使用の許可を得て行うこと。

(3) 計量法に基づく検定の実施

航空機騒音自動測定装置の精密騒音計について、計量法に基づく検定を受けさせる。受検の際は、合格するように事前に点検及び校正を行うものとし、期間中はデータの欠損が生じないように代替器を用いて対応する。

なお、対象となる航空機騒音自動測定装置は2台とする。

(4) その他

- ①上記の貸与品②の接続に必要なケーブル類等については受託者が準備する。
- ②測定装置の電源は履行場所（1）にある既設コンセントから確保する。
- ③マイクロホンに装着する全天候防風スクリーンは新品とする。

6 履行期間

契約締結日から平成27年3月31日まで

7 その他

- (1) 受託者は、本業務の実施に当たり、受託者として要求されるところの注意義務をもって、円滑かつ適切な処理を行う。
- (2) 受託者は、本仕様書に明記されていない事項であっても、業務実施上当然要求される事項については、受託者の負担において実施する。
- (3) 受託者は、本仕様書に明記されていない事項であっても、監督官の指示があった場合は、本契約の履行について、監督官に報告する。
- (4) 受託者は、本業務の実施に際し、疑義が生じた場合は、監督官と協議の上、監督官の指示に従う。この場合、速やかに指示事項を書面にし、監督官の承認を得る。
- (5) 受託者は、本業務の実施にあたり知り得た事項については、第三者に漏らしてはならない。また、監督官から貸与された資料については、目的以外には使用せず、業務完了後、速やかに返却する。
- (6) 受託者は、提出書類について、あらかじめ監督官と協議するものとし、作成過程においては、その都度、監督官の確認を受けること。
- (7) 委託契約の履行において再委託を行う場合に、あらかじめ再委託する相手方の住所・氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約

- 予定金額について記載した書面を提出し、委託者の承諾を得る。
- (8) 委託契約の履行において、再委託の承認を受けた場合には、再委託の相手方及び再委託の相手方が再々委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、当該複数の段階の再委託の相手方の住所・氏名及び再委託を行う業務の範囲を記載した書面を委託者に提出する。なお、当該書面の記載愛用に変更が生じた場合も同様とする。
- (9) 業務関係書類の作成等を行うパソコンについては、情報の流出について万全を期すため、ファイル交換ソフトをインストールしていないものを使用する。
- なお、業務関係書類とは、業務実施計画書、作業員名簿、保守点検報告書及び完了通知書のほか、本件業務で作成する書類の一切を含むものとする。

以 上

添付書類：別紙 「航空機騒音自動測定装置設置箇所」  
別添 1 「航空機騒音自動測定装置保守点検基準 (NA - 3 6)」  
別添 2 「航空機騒音自動監視システム AS - 5 0 (オンライン用)取扱説明書」

別添 2 についてはデータ容量の都合上、本HPには掲載しておりません。

## 航空機騒音自動測定装置設置場所

測定点	場 所 等		備 考
NO 1	個人宅	沖縄県国頭郡東村字高江	NA-36
NO 2	個人宅	沖縄県国頭郡東村字高江	NA-36
NO 3	個人宅	沖縄県国頭郡東村字宮城	NA-36

※No. 1 及び 2 の測定装置については、計量法に基づく検定を実施するものとする。

## 保守点検基準

### NA-36 型データ収集装置保守点検基準

#### 1.騒音計部

##### (1) NA-82A 性能点検

###### イ.マイクロホンを含めた騒音計レベル校正

騒音計を Frequency Weighting A、Calibration OFF にて 1kHz、音響校正器 (NC-74、校正済) にて、デジタル表示 94dB を示すこと。または騒音計を Frequency Weighting C、Calibration OFF にて 250Hz、ピストンホン (NC-72、校正済) にて、デジタル表示 114dB を示すこと。

###### ロ.内部校正発信器による校正

騒音計の Frequency Weighting C、Calibration ON にて、騒音計レベル表示は 114dB になるように CAL ボリュームを調整する。

###### ハ.各周波数の内部音響校正レベル確認

騒音計の Frequency Weighting F、Calibration ON にて、デジタル表示にて各周波数 (250Hz、500Hz、4kHz) の内部音響校正音源レベルを確認する。

###### ニ.デジタル表示直線性試験

90dB を基準とし、デジタル表示の直線性を測定する。

###### ホ.DC OUT 直線性試験

90dB を基準とし DC OUT の直線性を測定する。

###### ヘ.AC OUT 試験

デジタル表示 90dB、AC GAIN が 110dB の時の出力電圧を測定する。

###### ト.周波数特性試験

A、C、F 特性について 31.5Hz、1kHz、8kHz の信号を加えて周波数特性を測定する。

###### チ.動特性試験

入力に継続時間 0.2 秒の信号を入れて FAST の動特性を測定する。

入力に継続時間 0.5 秒の信号を入れて SLOW の動特性を測定する。

###### リ.専用治具を用いてヒーター電流の確認をする。

#### 2.各部点検

##### (1) マイクロホン部

###### イ.取付け状態

マイクロホン、スタンド、接続コードが危険なく完全に取付けられており、風等の影響にてコード等が乱れないかの確認。

ロ.全天候防風スクリーン

取付け状態の確認および損傷、ゴミの付着がないこと。

(2) 騒音計部

イ.測定状態にして表示レベルで監視した時、暗騒音時のレベル変動と大きい信号レベル変動の動作状態を把握し、騒音計動作を判断する。

ロ.Frequency Weighting A、C、F の切り替え動作の確認。

ハ.Time Weighting Fast、Slow 切り替え動作確認。

ニ.Check Freq. 250、500、1k、4kHz の切り替え動作確認。

ホ.Auto Cal Mode ON/OFF の切り替え動作の確認。

ヘ.Time 時刻設定の確認

ト.AC GAIN 90、110、130 の切り替え動作確認。

(3) データ処理部点検

SERVICE>CHECK MODE から次のテストを実施する。

イ.DATA VIEW の確認

正しいデータが確認できること。

ロ.PRESET VIEW の確認

設定条件の確認。

ハ.CHECK の確認

SLM	FREQ WEIGHT A、C、FLAT の確認 TIME WEIGHT、FAST、SLOW の確認 AC GAIN、90、110、130 の確認 CHECK FREQ 250、500、1k、4kHz 確認
-----	--

ID	DIP SW、SIG、X/Y/Z の表示
----	----------------------

MEMORY	ADDR LINE CHECK START、DATA CHECK START、 VERIFY CHECK START の表示
--------	---

CARD	CARD MOUNT、CARD SIZE、FREE SIZE、R/W、 FILE CHECK の表示
------	---

LCD	RED、GREEN、BLUE の確認
-----	--------------------

TOUCH KEY	3種類の格子状のマスが表示されること。
-----------	---------------------

AUX	外部入力の表示
-----	---------

SOUND	EF51 26381 の表示
-------	----------------

DATA INSERT	TEST DATA INSERT の表示
-------------	----------------------

ニ.SYETEM の確認

DATE/TIME	カレンダー、時計のセット
-----------	--------------

LCD LIGHT	表示器の AUTO ON/OFF
-----------	------------------

BEEP	BEEP 音の ON/OFF
VERSION	プログラムのバージョン情報
INDEX	地点番号表示
COM	RS232C の設定表示
PROGRAM	MAIN PROG.、ID PROG.の LOAD 表示
RD POINT	読み出し年月日の表示

ホ.CARD OFF

データカードの取り出し

ヘ.CARD FORMAT

データカードの初期化

ト.MEMORY CLEAR

チ.通信確認

通信設定及び動作確認。

(4) 識別部

イ.防風スクリーン

取り付け状態の確認及び損傷、ゴミの付着がないこと。

ロ.マイクロホンの方向

上下、方位の向きの確認。

ハ.識別マイクロホン感度の確認

識別マイクロホンを音響校正器またはピストンホンに挿入し、感度の確認をする。

ニ.識別パターンの確認

航空機が飛来したとき、相関パターンは正常であること。

(5) 記録部

イ.メモリーカード

カードが挿入されていけばランプが点灯すること。

ロ.プリンター

印字は鮮明であること。巻き取り器の動作確認。

### 3.その他

イ.電源部

バックアップ用電池充電電圧を確認する。

バックアップ用電池電圧を確認する

AC100V の供給電圧を測定する。



AC100V を抜いた時に停電補償され、動作は正常であることを確認する。

ロ.ランプ、スイッチ動作

CONTRAST 調整ツマミを回し、画面のコントラスト調整ができること。

ハ. 接続コード

AC コード、マイクロホン接続コードが確実に接続され、接続コネクタ内部の腐食等がないことの確認。

ニ.キュービクル

損傷、錆等がないことの確認をする。

ホ.掃除

全体の掃除をする。

#### 4.設定状態の確認

最終に各測定点の設定確認、記録をとる。

#### 5.保守点検時の使用機器

音響校正器 NC-74

リオン(株)製

ピストンホン NC-72

リオン(株)製

テストシグナルジェネレータ RSN-101

リオンサービスセンター(株)製

ヒーター電流測定用治具

リオン(株)製

デジタルボルトメータ

横河電機株式会社製

# 検 定 基 準

## NA-36 型の検定基準

騒音計部 NA-82A のみを引き上げ、検定受験に対する点検、調整、校正を実施する。

### 1.直線性試験

騒音レベル 30～130dB の各レベルが基準値の範囲に入るようにデジタル表示および AC、DC OUT を調整する。

### 2.周波数特性試験

#### (イ) A、C、F 特性

入力に 20Hz から 20kHz までの 31 ポイントの信号を加えて、各周波数特性が基準値内にあるかを確認、調整する。

#### (ロ) マイクロホン特性試験

基準マイクロホンと比較しながら、20Hz から 20kHz までの 31 ポイントの周波数特性が基準値にあるか確認する。

### 3.動特性試験

(ハ) FAST、SLOW の動特性に対して、バースト信号による立ち上がり特性の確認、調整をする。

(ニ) FAST、SLOW の動特性に対して、バースト信号による立ち下がり特性の確認、調整をする。

(ホ) FAST、SLOW の動特性に対して、突然入力信号に対するレベル表示差の確認をする。

(ヘ) 動特性切り替え誤差の確認をする。

(ト) 実行値指示特性の確認をする。

### 4.その他

JIS C 1505 の精密騒音計規格を満足しているか確認する。

### 5.校正

内部校正および基準マイクロホンに対して、絶対校正をする。

### 6.機器の動作確認

騒音計、処理器部が正常に動作しているか確認、調整等を実施する。

### 7.検定受験

点検調整、校正を終了した機器の本体番号、およびマイクロホン番号を記入した申請書を作成して計量法による器差検定を受ける。